



題字 原田 親

No. 1000

2023/7/1

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒111-0053
東京都千代田区浅草橋2-2-3
日中ビル5階
電話 03(5829)2140(代)
FAX 03(5829)2141
http://www.jcf-japan.jp
E-mail:nicchuhao@jcf-japan.jp
郵政 10119-1-21178

日中友好協会
岡山支部
〒709-0034
岡山市北区下伊福
西町1-53 民生会館1F
TEL: FAX 0861 250-1806

日中友好協会
倉敷支部
〒712-8031
倉敷市坂町西通22461-41
TEL: FAX 0861 481-7800

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhongyouhao.iinaa.net/>
メールアドレス
nicchuhokayama@yahoo.co.jp



平和の波の活動で

表町に折り鶴を飾り付けました！

2023年6月19日(月)の午後4時から、ぎんかく岡山」の2階ピロティで、飾り付ける木の枠に折り鶴をかけていきました。折り鶴は40羽を一本のタコ糸に通してあります。

上部に糸の輪を作り、糸の下部はボタン等で留めてあります。それを約40本かけていきます。上部に隙間ができるので、そこはモールで飾ります。



三つの丸い木の枠に飾り付けました。この木の枠は青木正さんが作ってくださったものを長年使っています。

一本はウクライナカラーで、青と黄色です。“ウクライナに平和を”というスローガンをかけてあります。

もう一本は太極拳講習会の札と、平和と健康というスローガンが風に揺れています。

最後の一本は小規模多機能ホーム「ほり」の皆さんが折ってくださった鶴で作りました。足りないところは、前年の鶴を使っています。高島公民館の日本語教室の皆さんが折ってくださったものや、理事の皆さんが折ったものです。

表町の「ぎんかく岡山」の前に飾ってあります。皆さん見に行ってください。

当日お手伝いくださった方々は、河井さん、青木ご夫妻、私の4人でした。

真田紀子

中国文化に親しむ会

中国人留学生周聖力さんとの交流

6月18日(日)14時から、岡輝公民館で中国人留学生の周聖力さんとの交流会がありました。参加者は7人でした。

周さんは新疆ウイグル自治区出身で、今は岡山大学に在籍しています。工学部のヘルシステム総合科学研究科で研究をしているそうです。薬を患部に効果的に届ける研究？ らしいのですが、詳しくは難し



すぎてわかりませんでした。わからなすぎると、科捜研の女とかが出てきたら、利権が絡んで殺人事件が起きるな・・・とぼんやり考えていました。きつと私の知らないところで、とても役に立つ研究をされているのだと思います。

宗教の話もしました。周さんは

無宗教だそうです。ウイグルにキ

ョンシーは出るか、と聞いてみました。キョンシーどころか、ほかの妖怪も思い当たるものはいないらしい

です。人間が一番怖いと教えてくれました。現実的です。

次回7月16日の中国文化に親しむ会は映画鑑賞の予定です。是非お越しください。

小川涼子

岡山・十五年戦争 資料センターニュース 第6回研究会

ホロコーストの起源とドイツの
新しい歴史家論争

◎7月22日(土) 午後2時

◎岡山市立岡西公民館・

◎報告者：香月恵里さん

(岡山商科大学経営学部教授)

1980年代のいわゆる「歴史家論争」の結果、ドイツではホロコースト(ユダヤ人大虐殺)を、他の事件との比較を許さない唯一無二の事象として考えることが公式見解となった。しかし、ドイツ以外ではすでに以前から、19世紀以降の植民地政策による人種差別がホロコーストを準備したという見方がされていた。ドイツがかつてナミビアで犯した虐殺がその一例である。人種差別に基づく虐殺とホロコーストを比較することで新しい地平が見えてきたのである。しかしそれなら、ドイツ以上に過酷な植民地政策を行ったフランスやベルギーではなく、ドイツが支配する地でホロコーストが行われたのはなぜだろうか？また、「歴史家論争」によってドイツの国策となった親・イスラエル政策が今どのような弊害をもたらしているか、そうしたことについて考えてみたい。

倉敷市の学校給食費の無償化を求める請願、 まともな議論も無く不採択

日中友好協会倉敷支部 宇野忠義

日中友好運動とは直接関わりはありませんが、県内の市民運動を紹介させていただきます。

1 倉敷市では、2015年に突如もちあがった12000食の巨大学校給食調理場の建設計画とその反対運動をきっかけに、「倉敷市の学校給食を良くする会」が立ち上がりました。自校・直営の学校給食を守り、施設・労働環境の改善の運動を進めるために多くのことに取り組んできました。

講演会、集会、署名活動、教育委員会への公開質問状や申し入れ、学校訪問や給食場見学、調理員さんとの懇談、市議会誓願、傍聴などなど。ニュースも発行しています。

2 昨年の12月市議会には、全ての小・中学校の給食費の無償化を国に求める意見書の採択を要請する請願を提出しました。合わせて、倉敷市の単独事業として市内の全小・中学校の給食費の無償化の実現を求める請願も提出しました。

3 全国的に子育て支援策が進み、12月時点では、子どもの医療費の通院、入院の無料化では、95%の自治体で実施されています。しかし、倉敷市は補助最低水準の5%に含まれています。（岡山市、倉敷市とも県内最低水準でしたが、2023年度より市民運動の積み重ねがみのり、中学校まで前進がみられました。）

また、学校給食費の無償化も進展しており、小規模自治体のみならず、中核市の青森市や高槻市、あるいは、23年度から、

葛飾区や市川市など人口40万人以上都市でも開始され、256自治体を超えようとしています（12月時点。2023年に入り、東京など各地で無償化が進展）。

4 憲法26条には「義務教育は、これを無償とする」と規定されていますが、今こそその完全実施が求められています。義務教育の機会均等の立場から、居住する地域によって教育費負担に著しい格差を生じさせることなく、全ての小・中学校で完全給食無償化を実施することが必要です。

5 所得格差が子どもの学力格差・学歴格差・就職格差と強く関連し、一生涯を左右する現実があります。所得格差の拡大、固定化の悪循環が生まれ、格差社会となっています。

また、注目すべきは、保護者の年収の格差が子どもの魚介類、緑黄色野菜の摂取量に差をもたらしていること、及び、給食のある日は子どもの摂取量格差が少なくなり、給食のない日は摂取量格差が広がるのが、新潟県立大学の村山教授の4県、19校、約1500人の調査で示されています。

6 それにもかかわらず、倉敷市教委やオール与党的議員は、学校給食法第11条に「学校給食費は、保護者の負担とする」とあることを理由に、学校給食をよくする会の給食費補助・無償化の要請を拒否しました。共産党議員のみが賛成でした。

日本の将来にとって、子育てに係わる負担を軽減することで、子どもを産み育てる環境を整備し、人口減少対策を講じることは喫緊の課題だといえます。

学校給食法第11条を改正し、国が給食費の無償化に踏み出すことが是非とも必要です。保護者も、教職員も強く望んでいます。



神戸日帰りバスツアーに行ってきました！

小川涼子

6月17日(土)に岡山県華僑華人総会主催の神戸日帰りバスツアーがありました。全体の参加者は40人ほどで、日中友好協会からは6人参加しました。

日程は、朝8時集合で、神戸中華同文学校、元町中華街、孫文記念館(写真)、紅宝石を回ってきました。

学校では低学年の授業を参観しました。中国語の授業をしていたクラスでは、テレビに移される漢字と画像を見て、児童たちが大きな声で読みあげていました。その光景を見た中国語学習中の参加者は、ああいうの、私もやりたいね」とうらやましく思いました。

他のクラスでは、一番後ろの席の男子児童が

授業を聞かず後ろを向いてぼんやりしていました。私たちが案内してくれた

先生が、廊下からじっとその児童を見つめ、気付いた児童は慌てて前を向いていました。どこの子どもたちも一緒です。

中華街では昼食をとり、雑貨店をめぐりました。太極拳仲間は、扇やらトンファーやらを買いました。毬子も買ったので、7月の太極拳の日曜練習会はこれを蹴つて運動します。

孫文記念館は明石海峡大橋のすぐ近くにありまます。ここは孫文を顕彰する日本で唯一の施設です。古い建物で天井に竜や鳳凰が彫刻されていました。

帰りは渋滞に巻き込まれたため、夕ご飯はかなり急いで食べることとなりましたが、紅宝石の料理はとても美味しかったです。

日中友好協会岡山支部

2023年度総会

◎7月30日(日)10時～

◎岡輝公民館

皆様の参加をお待ちしております。

次回の新聞発送作業は

7月13日(木)午前10時半から

民主会館2階で行います。

前回お手伝いくださった方で

す。

河井内真田